



一日一喜

(12月18日作成)



来年もよろしくお祈りします。

コスモの合宿で利用させていただく施設に打ち合わせに行くと、施設の方が「コスモさんの挨拶を聞くと、こっちが気持ち良くなるね！」と喜んでくださいました。「来年度の使う予定をまとめてくれれば先に押さえておくよ」と嬉しい話を頂きました。来年もよろしくお祈りします。



続けられる限り続けます！

年長兄のお母様より、小学生は何年生まで続けることができますかと質問されました。先週、お父さんも見に来られて、体操以外の面も指導してくれ、中でもなわとびを合格した時に、どんな時でも全力、真剣なところをみんなの前で褒めてくれた事がすごく嬉しかったと話していたそうです。「6年生まで続けることができます」「家族も子供も続けられる限り続けます！」



指導の醍醐味

小学生の、〇〇くんは縄跳びが苦手で、後ろあやとびを先週は9回跳んで悔し涙。後日、笑顔で来て、〇〇先生！家で練習して来たよ！いざ、みんなの前で発表。17回跳びました。今度は嬉し涙に変わりました。10年間指導していて、子供の嬉し涙は初めてで、お父さんと一緒に感動しました。内定者2名、この瞬間に立ち会えた事で2人にもこの仕事の素晴らしさ、指導の醍醐味を、伝える事ができました。このような瞬間に立ち会える、最高の仕事をさせて頂いている事に感謝致します。指導でたくさんの人を喜ばせます。



教え子から下記メールをもらいました。

私は今年の春に就職先が決まり、来春からは、小売業の会社に勤めることとなりました。〇〇先生に憧れて、幼児体育の指導員を志し、今の大学に入学しました。結果的に指導員とは別の道に進むことを決意したのですが、夢を与えて下さったこと本当に感謝しております。来年からは社会人として、しっかり生きていけるよう頑張ります。ただただご報告したくて、お伝えしてしまいました。〇〇先生、これからもお身体に気をつけて、お仕事頑張ってください。